

# 和歌山市立湊小学校

## 平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組

### 調査内容

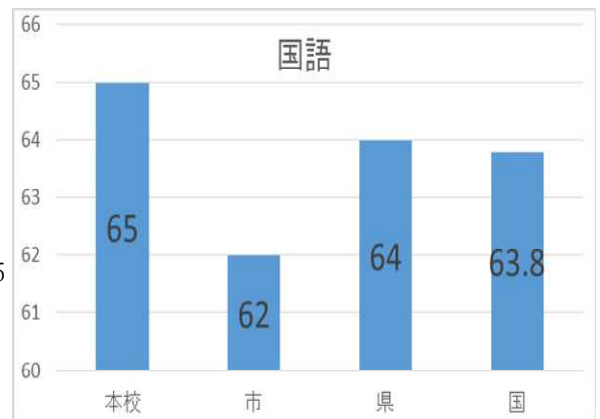
実施日：平成 31 年 4 月 18 日（木） 実施対象：6 年生 15 名

全国学力・学習状況調査は、出題範囲を調査実施学年の前学年までに含まれる指導事項を原則としています。今年度より AB 区分がなくなり、国語・算数の 2 教科について、「知識」と「活用」の 2 種類の問題が併せて出題されています。

### 教科調査の結果分析より

《国語科の調査結果に見える本校児童の傾向》

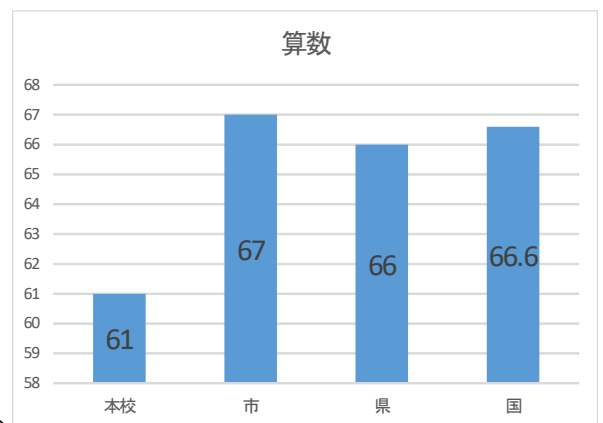
- 課題① 調べたことを報告する文章で二つの資料をそれぞれどのような目的で用いているか適切なものを選択する問題で、正答率が全国と比較して 10 ポイント以上低かった。
- 課題② 知りたいことを調べるために、選んだ本の目次を見て、読むページとして適切なものがどれかを選択する問題の正答率が全国と比較して 8.5 ポイント低かった。
- 課題③ 漢字の「関心」を「感心」と誤答した児童が多かった。



○総じて、国語科の平均正答率は、全国・県・市よりも若干高い。高学年になるにつれ、落ち着いて学習し、読書にも慣れ親しんだ成果が出てきた。

《算数科の調査結果に見える本校児童の傾向》

- 課題① 図で表示された形の面積を求める式が示され、その式がどのような考え方をもとに作成されたのか文章で説明する問題の正答率が、全国より 17.2 ポイント低かった。
- 課題②  $6 + 0.5 \times 2$  の回答を 13 と誤答した児童が 73.3%いた。4 年次に学習する四則計算のルールが定着していない。
- 課題③ 小数の割り算を整数の割り算にして答えを求める概念が定着しておらず、関連する問題の正答率が、26.7 ポイントで全国より 20.3 ポイント低かった。



○算数科の学習内容の定着率が低い。基本的な学習内容を繰り返し、継続して学習する必要がある。無回答率は 0%で、わからなくても最後まで考え解答しようとする粘りがある。

質問紙調査の結果分析より

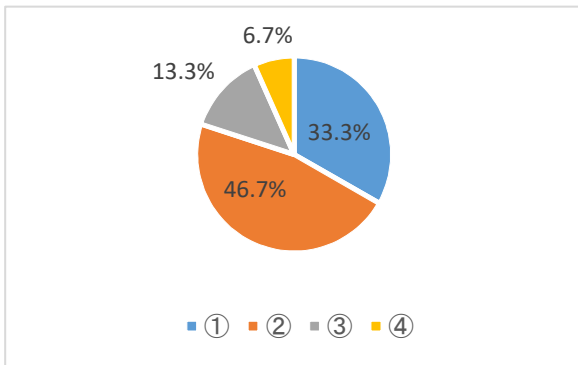
《生活習慣について》

朝食を毎日食べていると回答した児童が、本校では86.7%で、全国と同率である。昨年度は100%であった。

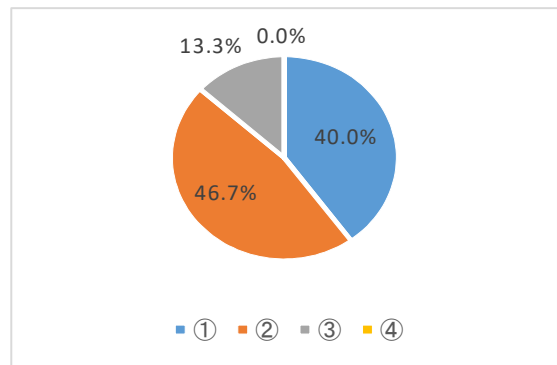
《学習意欲について》

国語の勉強が好きですか、算数の勉強が好きですかの問いに、全国と比較しても概ね好きと答えた児童が多かった。

国語の勉強が好きですか



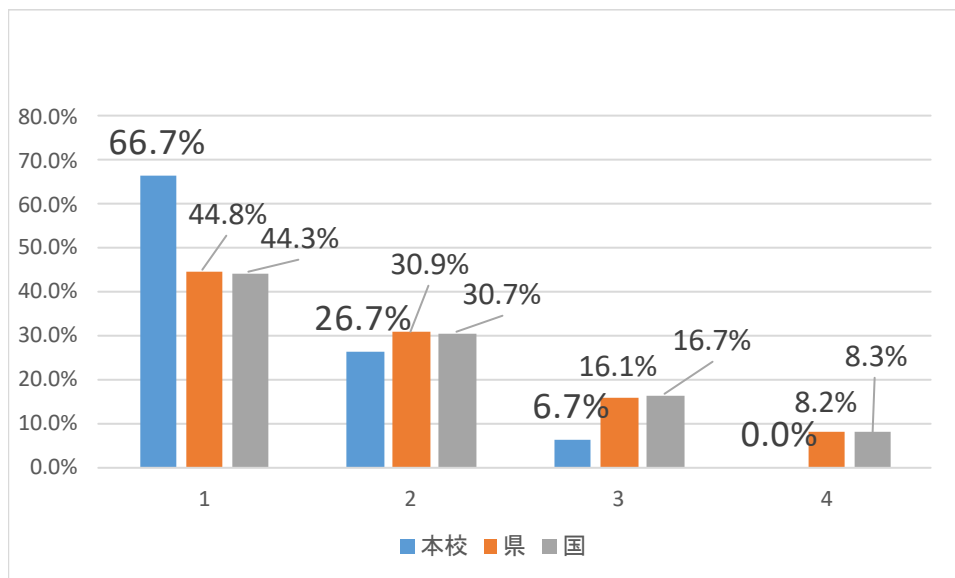
算数の勉強が好きですか



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば当てはまる
- ③ どちらかといえば当てはまらない
- ④ 当てはまらない

読書は好きですか、の問いに、全国と比較しても好きと回答した児童が多かった。うち読コーナーを設けたり、読書カードを作成したりするなどの取組が実を結んでいる。

読書が好きで、読書をすることにより読解力が向上し、国語科の調査結果においても全国・県より高い正答率につながったと考えられる。



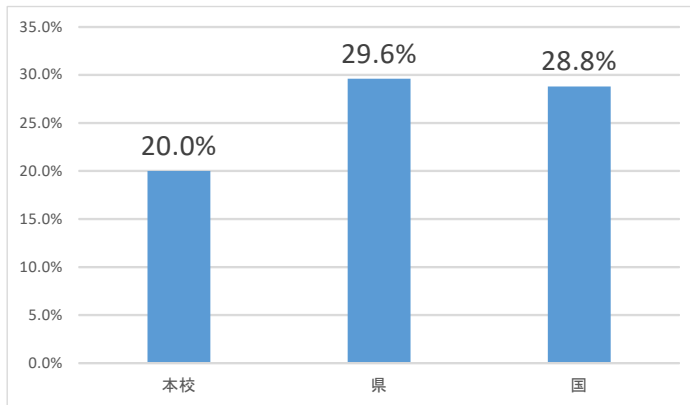
調査結果を受けて、本校が具体的に取り組んでいくこと

《国語科の書くことについて》

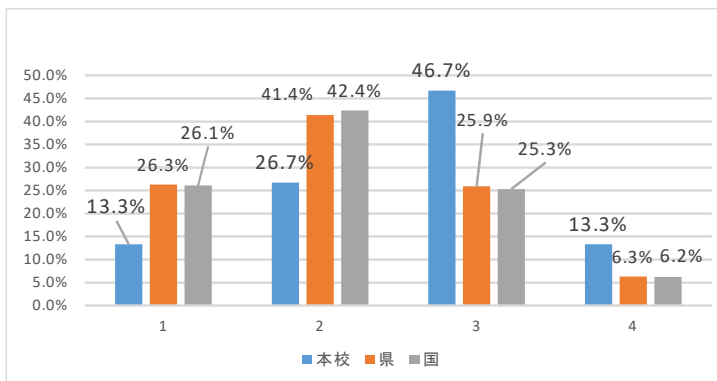
目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題の正答率が下のグラフである。県・国と比較して、本校の児童は、論理的に文章を書く能力に課題がある。

更に、その下のグラフは、児童質問紙の「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか。」という質問に対しての回答を表したものである。国語科の授業で、自分の考えを話したり、書いたりするとき、うまく伝わるように工夫しているかという問いに、対して「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と肯定的に回答した児童の率が、県、国と比較しても低い。

これら二つのデータは、日頃の授業において、自分の考えを書いたり、発表したりする機会を充実させること、その際に、理由を明確に、相手にわかるように工夫させるよう、常日頃から継続して指導していく必要を示唆しており、本校においてもそのような指導を実践していく。



(目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題の正答率)



(児童質問紙 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか。)

- 1 あてはまる
- 2 どちらかといえば当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない。
- 4 あてはまらない